(B)　一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている関係
(C)　一方の会社等の管財人が、他方の会社等の管財人を現に兼ねている関係
③　その他入札の適正さが阻害されると認められる場合
その他上記①又は②と同視しうる資本関係又は人的関係があると認められる関係
⒀　警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者又はこれに準ずるものとして、機構発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
⒁　特定ＪＶを結成して確認申請書等を提出した者の構成員の一部が指名停止措置を受けたことにより、残余の構成員が新たな特定ＪＶを結成して特定ＪＶの認定及び一般競争参加資格の確認申請を行う場合及び残余の構成員が単独で一般競争参加資格の確認申請を行う場合は、令和元年９月６日（金）までに特定ＪＶの認定及び一般競争参加資格確認申請を行っていること。

3　総合評価落札方式に関する事項　本工事は、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式の工事であり、以下の方法により落札者を決定する。
⑴　評価項目　評価項目は次に示すとおりとする。
①　導水路施工に関する提案
②　環境に配慮した施工方法に関する提案
⑵　技術点の付与　評価項目に対する提案制限数、評価基準、評価点の満点及び技術点の配分は入札説明書のとおりとする。
⑶　指名停止措置の状況　2⑻に該当することによる指名停止について、本工事への競争参加を認める場合は、当該指名停止の期間１カ月当たり８点として、対象となる指名停止期間を合算し、技術点を減点する。
特定ＪＶによる場合は、構成員毎に受けた指名停止措置の期間を合算し、技術点を減点する。
なお、指名停止期間がひと月に満たない場合は、指名停止期間を当該対象月の暦日数で除した数値（小数点以下第２位を四捨五入）で月数を算定する。
また、指名停止措置による技術点の減点は、確認申請書等の提出期限から開札時までの間に指名停止措置を受けていた、あるいは受けた場合に対象となる。
⑷　総合評価の方法　総合評価落札方式の評価は、価格点と技術点を合計した評価値（以下「評価値」という。）による。
なお、価格点と技術点の算定は入札説明書のとおりとする。
⑸　技術提案の方法　技術提案は、入札説明書及び設計図書に基づき作成するものとする。
⑹　技術提案の採否等　技術提案の採否については、技術提案書の審査結果を踏まえ、令和元年９月30日（月）までに書面により通知する。
技術提案採否通知書において、採用とされた提案については、当該技術提案をもって入札を行い、不採用とされた提案については、標準案をもって入札することを条件とし、これに違反した入札は無効とする。
⑺　技術提案の履行の確保
①　採用された技術提案の内容については、契約後に履行状況について確認を行う。
②　受注者の責めにより、入札時の技術提案（技術点を得た提案に限る。）の履行がなされなかった場合は、履行できなかった内容に対して、契約金額の一部について返還を求める。また、その場合には工事成績評定点を減じる措置を行う。
請求金額の算定は以下のとおりとする。
請求金額＝当初の請負代金額×（当初の評価値－再計算後の評価値）／100
ここで、再計算後の評価値とは、実際に履行できた技術提案に基づき再計算した評価値である。
工事成績評定点の減点は以下のとおりとする。
・「導水路施工に関する提案」について最大５点
・「環境に配慮した施工方法に関する提案」について最大５点
さらに、次回以降の総合評価落札方式による工事の企業の技術力の評価においても評価を減じる措置を行うことがある。

4　契約後ＶＥに関する事項（優遇措置）　本工事において契約後にＶＥ提案を行った者に対しては、その達成の程度により、機構が本工事の竣工後に行う総合評価落札方式による工事の企業の技術力の評価において優遇する。
優遇される期間は、本工事が竣工した年度の翌年度から４年間とする。

5　入札手続き等
⑴　契約担当窓口　〒330―6008 埼玉県さいたま市中央区新都心11番地２（ランド・アクシス・タワー内）独立行政法人水資源機構　技術管理室契約企画課　川本、松崎　電話048―600―6534（直通）ＦＡＸ048―600―6588
本件に関する問い合わせは、９時30分～17時まで（土曜日、日曜日及び祝日並びに12時から13時までを除く。）
⑵　入札説明書等の交付期間等
①　交付期間　令和元年６月28日（金）から令和元年７月19日（金）17時まで。
②　交付方法　別途指定するアドレスからのダウンロードによる。
なお、アドレス等については⑴契約担当窓口まで問い合わせること。
③　交付費用　交付費用は無料とする。
⑶　確認申請書等の提出方法等
①　提出方法　持参又は郵送（信書として送達し、かつ、配達の記録が残る方法）により提出することとし、電送によるものは受け付けない。
なお、紙媒体の提出と併せて、電子媒体でも提出すること。
②　提出期間　令和元年７月１日（月）から令和元年７月19日（金）17時まで。
ただし、持参する場合は、上記期間の行政機関の休日を除く毎日９時30分から17時まで（12時から13時を除く）
③　提出先　⑴契約担当窓口に同じ。
⑷　技術提案書の提出方法等
①　提出方法　持参又は郵送（信書として送達し、かつ、配達の記録が残る方法）により提出することとし、電送によるものは受け付けない。
なお、紙媒体の提出と併せて、電子媒体でも提出すること。
②　提出期間　令和元年８月５日（月）から令和元年９月６日（金）17時まで。
ただし、持参する場合は、上記期間の行政機関の休日を除く毎日９時30分から17時まで（12時から13時を除く）
③　提出先　⑴契約担当窓口に同じ。
⑸　入札書の提出方法及び開札日時等
①　持参又は郵送（信書として送達し、かつ、配達の記録が残る方法）により提出することとし、電送によるものは受け付けない。
②　提出期間　令和元年10月１日（火）から令和元年10月９日（水）17時まで機構に到着した入札書に限り有効とする。ただし、持参する場合は、上記期間の行政機関の休日を除く毎日９時30分から17時まで（12時から13時を除く）
③　提出先　⑴契約担当窓口に同じ。
④　開札日時　令和元年10月18日（金）15時00分
⑤　開札場所　独立行政法人水資源機構本社７階入札執行室
⑹　再度の入札　入札者又はその代理人の入札のうち、予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、再度の入札を行う。

6　確認申請書等及び技術提案書のヒアリングについて
⑴　確認申請書等及び技術提案書の内容についてのヒアリングは原則として行わない。
⑵　ヒアリングの必要が生じた場合は別途通知する。この場合、出席者は、確認申請書等又は技術提案書の内容を説明できる者とする。

7　入札保証金及び契約保証金
⑴　入札保証金
①　入札参加者は、入札保証金を機構に納付することとする。ただし、水資源債券の提供又は銀行等の保証をもって入札保証金の納付に代えることができる。また、入札保証保険契約の締結又は契約保証の予約を受けた場合は、入札保証金を免除する。
②　提出方法　５⑸①に同じ。
③　提出期間　５⑸②に同じ。
④　提出先　５⑸③に同じ。
⑵　契約保証金　受注者は、契約保証金を機構に納付することとする。ただし、水資源債券の提供、銀行等又は保証事業会社の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金の納付を免除する。

8　開札　入札者又はその代理人の入札のうち、予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、再度の入札を行う。

9　入札の無効等　競争参加資格のある者のした入札であっても、確認申請書等に虚偽の記載をした者の入札及び競争契約入札心得及び現場説明書において示した入札に関する条件に違反した入札者並びに開札時において、「２．競争参加